



日本のインターネット利用者のうち女性は 27.9% (2000 年 2 月末現在) 米国の女性比率は昨年末で 42.0%、2000 年末には 46.0%

アクセス メディア インターナショナル株式会社(以下 AMI と略す 本社: 東京都港区北青山、代表取締役: 越智 淳夫)は先日 6 月 12 日に 2000 年 2 月末までの日本のインターネット利用人口を発表したが、今回はさらにインターネットの女性利用者についてまとめた。

本調査は 1996 年から毎年数回、電話による普及率調査と郵送による利用実態調査を行なっている「AMI 日本のインターネット動向調査 2000」に基づくもので、予測を含めたインターネットの利用人口をリリースする。また米国のデータはインターネットを利用したオンライン調査など独自調査の結果から今年 1 月にまとめたものである。

【本リリースのポイント】

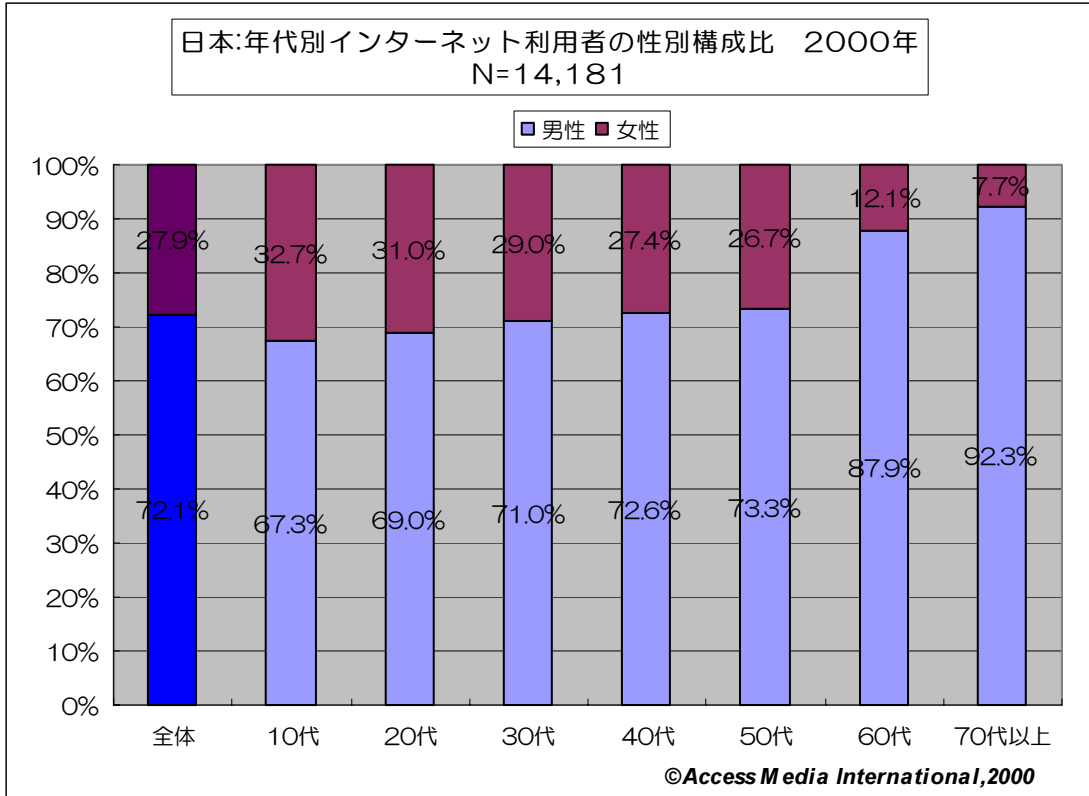
- 2000 年 2 月末時点で、日本のインターネット利用者 1,937.7 万人のうち女性利用者は全体の 27.9%を占める 540.6 万人。
- 年代別では 10 代、20 代で 30%を超えるが、60 代で 12.1%、70 代では 7.7%と年齢が上がるほど極端に低くなる。
- 地域別では関東が最も高く 29.2%、最も低いのは中国・四国で 24.8%。
- 1999 年末時点で、米国の女性利用者は全体の 42.0%を占める 3,570 万人。2000 年末には 4,460 万人で全体の 46.0%に達する。
- 米国の年代別構成比では 30 代で 50.3%と男性を上回っている。最も女性比率が低い 80 代以上でも 33.7%を占める

AMI インターネット動向調査と市場予測

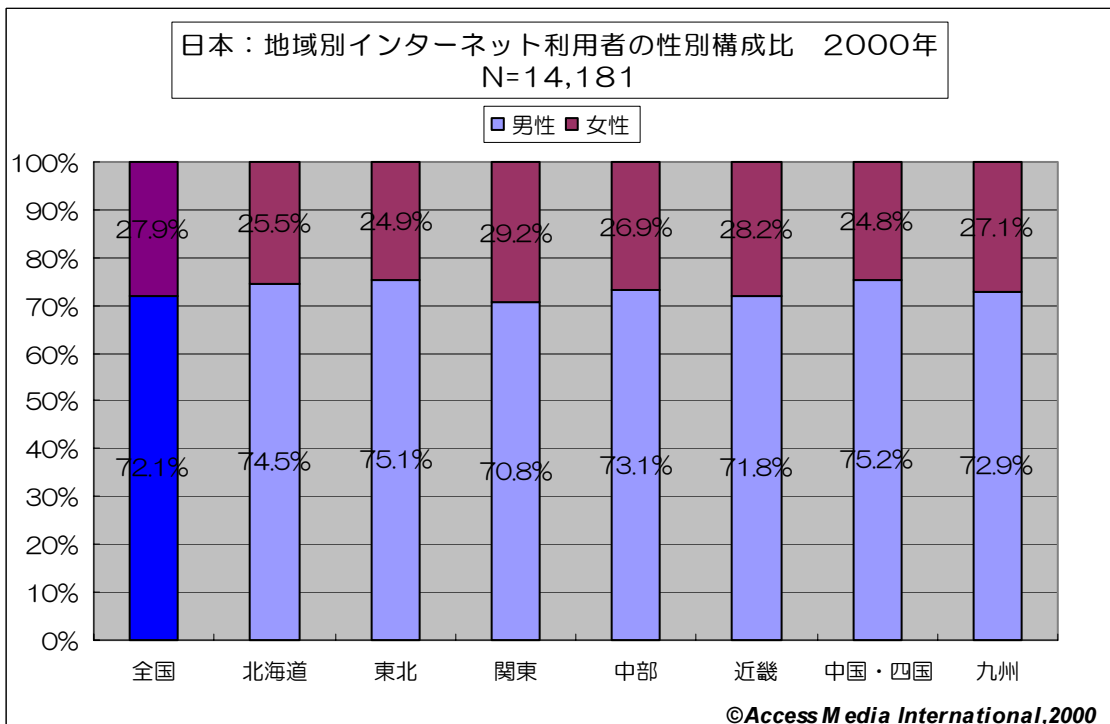
- ◆ 全国のインターネットの利用人口は昨年同時期(1999 年 2 月)の 1,508.5 万人から 128.5%と伸び 1,937.7 万人に達した。これは AMI が 1996 年より毎年行なっている、全国レベルの電話による普及率調査(調査対象:108,009 世帯、有効回答数:34,260 サンプル)によるものである。ここ最近の大きな特徴として、インターネット利用者のいる世帯では家族内の複数人が利用を始める傾向にあり、従来利用者の中心であった「30 代男性」から、女性や若年層への波及が著しい。
- ◆ 今回初めて性別や年代別、地域別のデータを公表する。以下は年代別にみた利用者の性別である。10 代から 30 代までの比較的若い層では全体より女性比率が高く、逆に高齢になるにしたがい急激に女性比率が少なくなる傾向がみられる。(表 1)

◆インターネット利用者の男女構成比を地域別にみると、さほど大きな地域格差をみることはできない。
最も高いのは関東の 29.2%。逆に東北、中国・四国ではそれぞれ 24.9%、24.8%と低かった。(表 2)

(表 1) 日本のインターネット利用者男女構成比 (年代別)



(表 2) 日本のインターネット利用者男女構成比 (地域別)



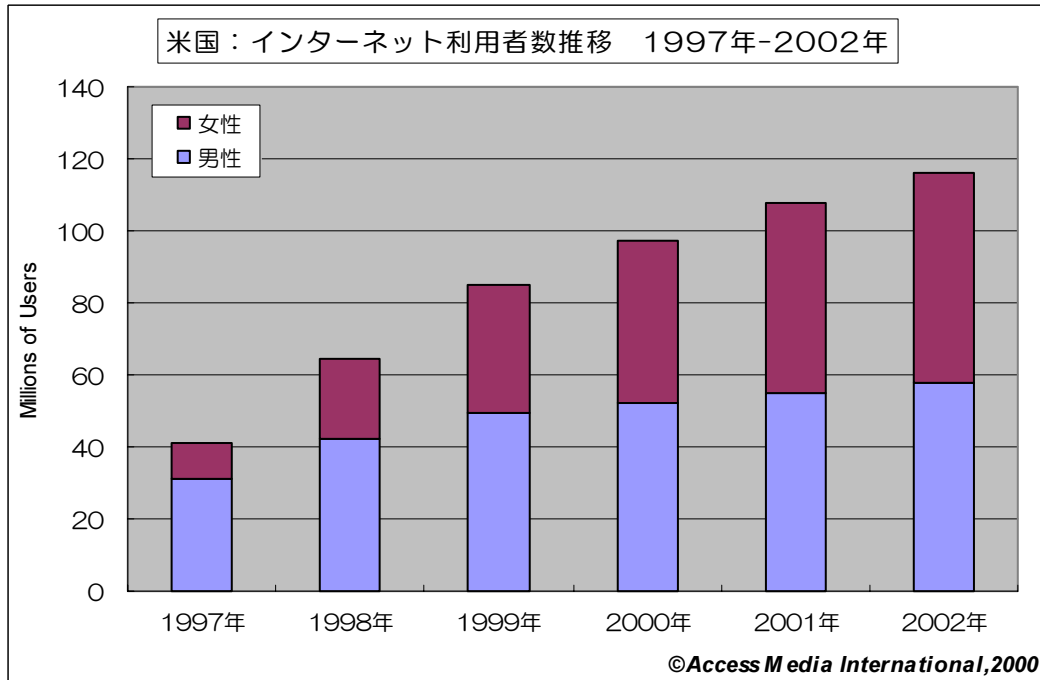
◆米国のデータはインターネットを利用したオンライン調査など独自調査の結果から AMI が今年 1 月にまとめたものである。

米国のインターネット利用者数は 1999 年 12 月末時点で 8,500 万人に上り、全体の 42.0% が女性で占められている。今後この構成比はさらに差がなくなり、2002 年末までには男女同率になると予測される。(表 3)

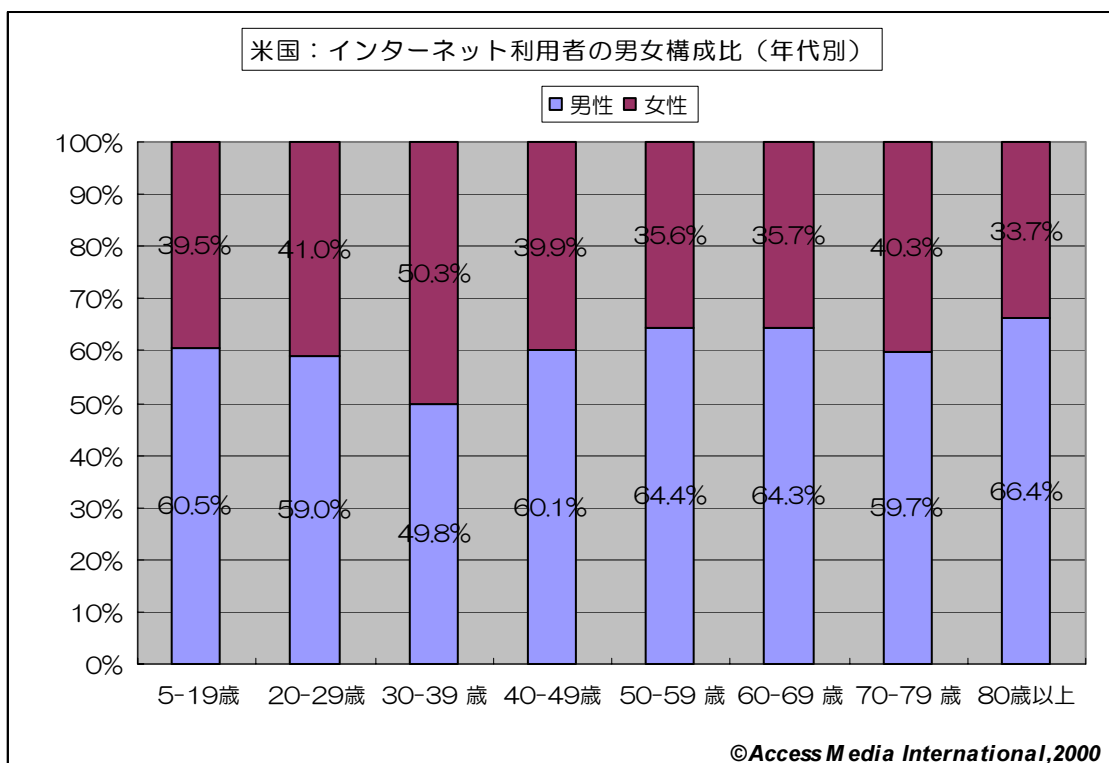
◆年代別にみた男女構成比では、30 代で 50.3% と女性が男性を上回っている。最も女性の比率が低い 80 代以上でも 33.7% に達しており、日本と比較して年代間の差異が少ないのが特徴である。(表 4)

(表 3) 米国のインターネット利用者人口推移 1997-2000 (性別)

*2000 年以降は予測値



(表 4) 米国のインターネット利用者の男女構成比 (年代別)



- ◆なお、これらの結果と詳細データについては6月19日発売の「インターネット白書2000」(日本インターネット協会 編、インプレス刊)でも一部掲載される予定。
- ◆この調査では、日本におけるインターネットの普及状況、パソコンや携帯電話など利用機器ごとの利用者規模、あるいは自宅、勤務先/学校、モバイルそれぞれの環境でのインターネット利用者規模、同一世帯内での家族の利用状況など、様々なセグメントごとの市場規模を調査したが、これらの「インターネット白書2000」に掲載しきれなかった完全レポートは、AMI マーケットスタディ「日本のインターネット動向調査 2000」レポートとして販売される予定。(問い合わせ受け付けは下記)

AMI Market Studies「日本のインターネット動向調査 2000」

■レポート構成

1. インターネット利用者 (パソコンユーザー個人編)
2. インターネット利用者 (携帯電話/PHS 個人編)
3. パソコン所有者・パソコン購入予定者
4. インターネット利用企業 (企業編)

■納品形態

紙出力バインダーまたは、CD-ROM (単純集計表・クロス集計表/PDF ファイル、グラフ/Excel ファイル) にてご提供。

アクセス メディア インターナショナル株式会社の概要

弊社は東京、ニューヨーク、シンガポール、ニューデリーに拠点を置き、以下の4つの事業を柱にデジタルメディア関連市場に関するコンサルティング、リサーチを行っている会社です。

- Consulting** パソコンハードウェア、ソフトウェア、インターネットから家電やカーナビゲーションシステムに至るまで、製品・サービスの企画、ターゲット市場の設定等、マーケティング戦略の策定 PR やコミュニケーションプラン、海外進出・新規分野への参入をはじめとする事業展開への支援など、ハード、ソフトメーカー、流通、小売業、広告代理店等に対するコンサルティングを行います。
- Research** インターネット白書 (インターネット協会監修)、パソコンソフトウェア白書 (パーソナルコンピュータソフトウェア協会監修)、デジタルコンテンツ白書 (デジタルコンテンツ協会監修) へのオフィシャルデータの提供をはじめとして、世界の企業・家庭における情報化投資と利用実態の調査、情報機器関連製品の出荷調査、チャネル特性、構造の流通調査等々、各種リサーチ活動、情報提供サービスを行います。
- Alliance** コンピューター関連会社同士の業務提携、コンテンツ・ビジネスや異業種への参入における提携先やビジネスパートナーの斡旋を行います。また、投資先・提携先としてのベンチャービジネスの実績や将来性の評価、ビジネスコンサルティングにも大きな期待が寄せられています。
- Others** 渡辺プロダクショングループとの共同による「ワタナベ・デジタル・メディア・コミュニケーションズ」の設立やアニメーション制作会社「スタジオびえろ」への出資などインターネットや DVD、デジタル衛星放送等のデジタルメディア技術を利用した事業展開とそれらに関するコンテンツの制作、コンファレンス・イベント等を企画実行します。

ー本リリースに関するお問い合わせ先ー

アクセス メディア インターナショナル株式会社
TEL: 03-5467-5772 FAX: 03-5467-5785
E-mail: pub@ami.co.jp
Internet: <http://www.ami.co.jp/>